

令和4年8月 月例報告

8月も終盤となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

日本に渡航を検討されておられる、カナダ国籍の皆様には、8月18日よりオンラインでのビザ申請が可能となっております。ご活用下さい。また、9月7日より、カナダからの入国者については、ワクチン接種証明書を保持している場合は出国前72時間以内の検査証明の提出を求めないこととなりました。日本政府としては各種措置について今後さらに緩和することとし、速やかに公表する方針です。

外務大臣表彰の発表

8月4日、本年の外務大臣表彰の発表がありました。カナダ・当総領事館の関連では、以下3名の個人の方が表彰されました。こころより喜び申し上げます。

タイガー・ジェット・シン・タイガー・ジェット・シン財団会長

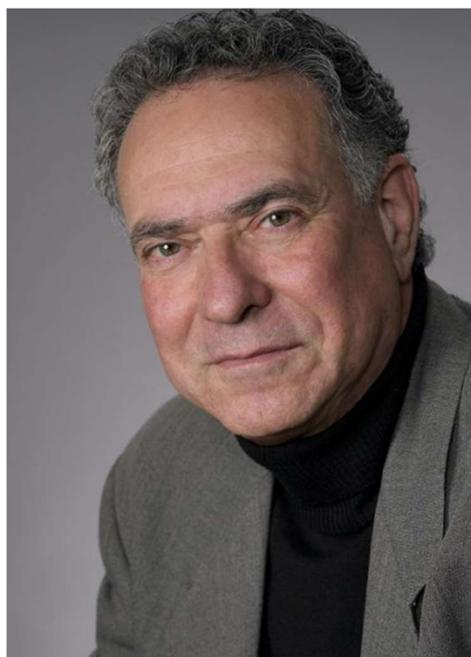
いわずと知れた、日本で大活躍されたプロレスラー。今はトロント郊外のミルトンで、自ら設立された財団を中心に熱心に活動を続けておられます。私は、総領事として、これまでの日本とカナダの相互理解の促進へのご貢献に感謝し、2011年の東日本大震災の募金活動10周年の節目となった昨年2月、在外公館表彰を実施いたしました。先日、はじめて対面でご挨拶する機会もありました。

今回の外務大臣表彰を契機に、まだまだこれからもご活躍いただきたいと思っております。



バーリ・ジョセフ・ハイーム・EDO グループ社 設立者兼最高経営責任者

トロントには今でこそ多くの和食店が展開していますが、ハイーム氏が和食に目を付けてお店を開かれた 80 年代、和食レストランは数えるほどであったそうです。単に和の食材を使用するだけでなく、それを支える日本文化、日本の心を大切にしながら、また多くの方々にアドバイスを与えながら、和食文化の普及に尽力されてきました。また、日本への国費留学生の同窓会(オンタリオ州国費留学生会)の設立に貢献され、同会の初代会長を務められました。常に斬新なアイデアでトロントの日本文化浸透をリードしてきていただきました。今後も長きに亘りご活躍を期待したいと思います。



前田典子 書家

前田先生が主催されます、ウォータールー大学、日系文化会館(JCCC)他の書の教室はたいへん人気の高い講座です。コロナ禍のなかでオンラインに移行されてから、かえって遠方からの参加者も増加し、当面は現在の形式を続けられるとのこと。毎年、書道展を開催。その出展作品の質の高さに驚きますが、これも前田先生の長年のご指

導のたまものといえましょう。明るく、活発な先生のお人柄も、その教室の人気を支える要素の一つであろうと思います。教室がさらなる発展を遂げることを期待したいと思います。



(Credit) Canadian Broadcasting Corporation (CBC)

ミシサガ ジャパン フェスティバル

8月20日、21日の両日、ミシサガ市市庁舎前のセレブレーションスクエアにて、ミシサガ日本祭りが3年ぶりに有人で盛大に開催されました。私も20日の午後、開会式挨拶のため参加しました。

夏らしい晴天のもと多くの展示、出店が軒を並べ邦人の方のみならず多くの地域住民がお祭りに参加していました。

開会式には地元のボニー・クロンビー市長はじめ、連邦政府からアーメッド・フッセン住宅問題・多様性・包摂性担当大臣、ビクター・オウ上院議員、地元選出の連邦下院レチ

エ・バルデス議員、また州議会からニナ・タングリ議員が参加されました。本年 101 歳になられるヘイゼル・マカリオン前市長も挨拶にお見えでした。マカリオン前市長は、暑い日に他のイベントとの掛け持ちという恐るべきスタミナでミシサガと刈谷市の友好都市関係やミシサガへの日本企業誘致について、雄弁に語っておられました。改めて強い印象を参加者に与えたと思います。

このイベントはミシサガ・ジャパン・フェスティバル実行委員会(若狭輝行氏が代表)が実行しているものですが、2016 年に始まり、2019 年のフェスティバルでは日加外交関係樹立 90 周年を記念して高円宮妃殿下が開会式に参加されたこともあります。多くの日系企業また地元企業が出店し日加関係、日オンタリオ関係を草の根から支える大変楽しい二日間となりました。

